記者発表

令和2年9月23日
国土交通省　東北地方整備局
宮城南部復興事務所

東日本台風被災後1年を前に緊急的な河道掘削工事が完了

～被災地連携による河道掘削土有効活用により復興加速～

令和元年東日本台風（台風第19号）により、宮城県伊具郡丸森町の阿武隈川水系内川流域において大規模な土砂・洪水氾濫が発生し、宮城県管理の内川、五福谷川及び新川の河道内に大量の土砂が堆積したため、国土交通省では宮城県知事からの要請を受け、権限代行により令和2年2月下旬から河道掘削を行ってきました。

この度、東日本台風被災後1年を前に、概ね従前（被災前）の安全性（河道の流下能力）を確保するための緊急的な河道掘削工事が完了しました。また、河道掘削工事で発生した残土については、亘理町と連携し、東日本大震災で地盤沈下した荒浜海水浴場の砂浜の嵩上げに活用することで丸森町、亘理町双方の被災地復興に繋がりました。

引き続き、阿武隈川水系内川等の堤防強化や河道拡幅等の改良復旧工事の早期完了を目指し、地元関係者の協力を得ながら工事を進めて参ります。

◆現地の取材は安全性確保のため、下記の時間帯及び場所でお願いします。
日　　時　：　令和2年10月1日（木）　10：00事務所集合、受付
10：30河道掘削現地取材開始（内川矢田橋）
13：30海水浴場現地取材開始（荒浜海水浴場）
集合場所　：　国土交通省　東北地方整備局　宮城南部復興事務所
宮城県伊具郡丸森町字除北20番地
取材場所　：　別紙参照

※取材に際しては、事前に別添「取材申込書」により、お申し込み下さるようご協力お願いします。
※集合場所で受け付けを済ませて指定された取材場所へ移動ください。
※取材をされる方は安全確保のため、長靴、ヘルメット等を持参し、現場内では着用をお願いします。
※天候等により取材を延期する場合があります。（小雨決行）

発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、仙南記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　宮城南部復興事務所
宮城県伊具郡丸森町字除北20番地
電話：0224－51－8290（代表）
河道掘削に関すること　　建設監督官　　皆澤（みなざわ）　和哉（かずや）　（内線403）

亘理町　商工観光課　観光推進班
宮城県亘理郡亘理町字悠里1番地
電話：0223－34－0513（直通）
海水浴場に関すること　　班長　　岡崎（おかざき）　直樹（なおき）

阿武隈川水系内川等の緊急的な河道掘削が完了

〇今回の緊急的な河道掘削工事完了に対し、関係自治体である丸森町長より下記コメントを頂きました。



保科　郷雄　丸森町長

〇国土交通省東北地方整備局におかれましては、令和２年４月１日付で、本町に「宮城南部復興事務所」を新設され、町の復旧・復興の早期実現に向け、河川、砂防及び道路の災害復旧事業等に日々御尽力をいただいており、町民の皆様を代表し、心から感謝申し上げます。

〇宮城南部復興事務所の御尽力により、今般、台風シーズンを前に緊急的な河道掘削工事が完了し、被災前の安全性が確保されたことは、町民の切実願いであり、安全・安心なまちづくりに向けた確かな一歩だと実感しております。

〇また、河道掘削により大量に発生した残土を、東日本大震災で被災した亘理町の荒浜海水浴場の砂浜の嵩上げに利活用いただいたことは、同じ被災地として、互いに助け合う、共助の精神を象徴する取組であり、双方の町の復興に寄与するものと存じます。

〇今後、機能強化を含めた更なる河川の改良工事が進むものと期待しており、町といたしましても、宮城南部復興事務所や亘理町をはじめとした他自治体などの御協力をいただきながら、復旧・復興に向けて全力で取り組んでまいりますので、町民の皆様の御理解、御協力のほど、よろしくお願いいたします。

阿武隈川水系内川等の緊急的な河道掘削が完了

○今回の緊急的な河道掘削工事完了に対し、関係自治体である亘理町長より下記コメントを頂きました。



山田　周伸　亘理町長

○国土交通省東北地方整備局におかれましては、台風19号被害の復旧・復興事業への日々のご尽力に対しまして、心から敬意を表する次第であります。

○東日本大震災により被災した本町も、復旧事業等が順調に進み、おかげ様をもちまして観光拠点である荒浜鳥の海エリアは少しずつではありますが賑わいを取り戻しつつあり、今年度、震災から10年ぶりに荒浜海水浴場の再開を予定しておりました。

○荒浜海水浴場は、東日本大震災による地盤沈下の影響により海岸が低くなったことで、台風等が発生するたびに流木等が打ち上げられる状況にあり、盛土などの早期の対策が急務となっていたところ、宮城南部復興事務所のご尽力により、丸森町の緊急的な河道掘削工事で発生した砂を海水浴場砂浜の嵩上げ整備に活用させていただきましたことは、同じ被災地としてお互いに助け合い、被災地が連携して復興に寄与するものであり、大変嬉しく感じております。

○今年度は、新型コロナの影響により海水浴場の再開を断念したところですが、再開した際には、今回の復旧工事をきっかけとした両町の町民交流が出来ればと考えております。結びに、宮城南部復興事務所の全面的なご支援・ご協力に対し心から感謝を申し上げますとともに、丸森町の1日も早い復旧・復興をご祈念申し上げます。

阿武隈川水系内川流域　河川・砂防事業位置図

国土交通省
宮城南部復興事務所

令和元年台風第19号よりに阿武隈川水系内川流域において発生した大規模な土砂洪水氾濫による災害について、宮城県が管理する内川、五福谷川、新川において、国の権限代行により河川改良復旧工事を実施しています。

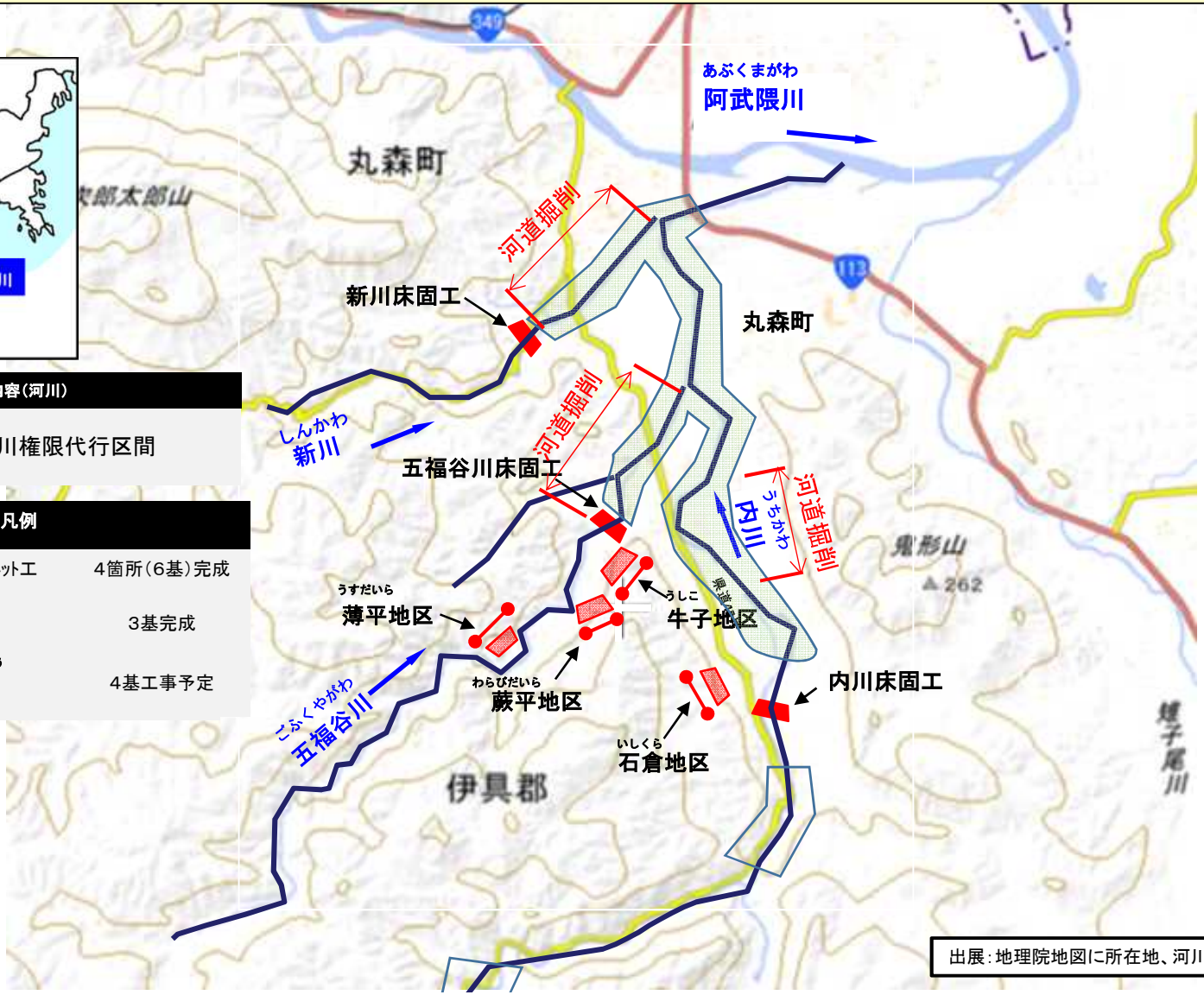


実施内容（河川）

河川権限代行区間

凡例

	強靭ワイヤーネット工	4箇所（6基）完成
	床　固　工	3基完成
	砂防堰堤工	4基工事予定



出展：地理院地図に所在地、河川情報等を追記して掲載

阿武隈川水系内川流域　河道掘削施工状況

国土交通省
宮城南部復興事務所

代表事例

令和2年8月末時点

河道掘削（内川）

赤堀橋上流　施工前



赤堀橋上流　施工後



河道掘削（五福谷川）

五福谷橋下流　施工前



五福谷橋下流　施工後



河道掘削（新川）

飯塚橋上流　施工前



飯塚橋上流　施工後



建設発生材の有効利用（河道掘削残土、転石）

河川、砂防工事で発生した残土、転石について、他事業等へ有効活用。（予定も含む）

○河川工事


河道掘削（五福谷川）


荒浜海水浴場砂浜（亘理町）


砂防工事工事用道路盛土（五福谷川）


大型土のう製作設置（五福谷川）


道路復旧仮設道路盛土（国道349号）

○砂防工事


除石（五福谷川）


転石破砕（五福谷川）


海岸事業（仙台湾南部海岸）

R2.10.1　丸森町現地取材場所



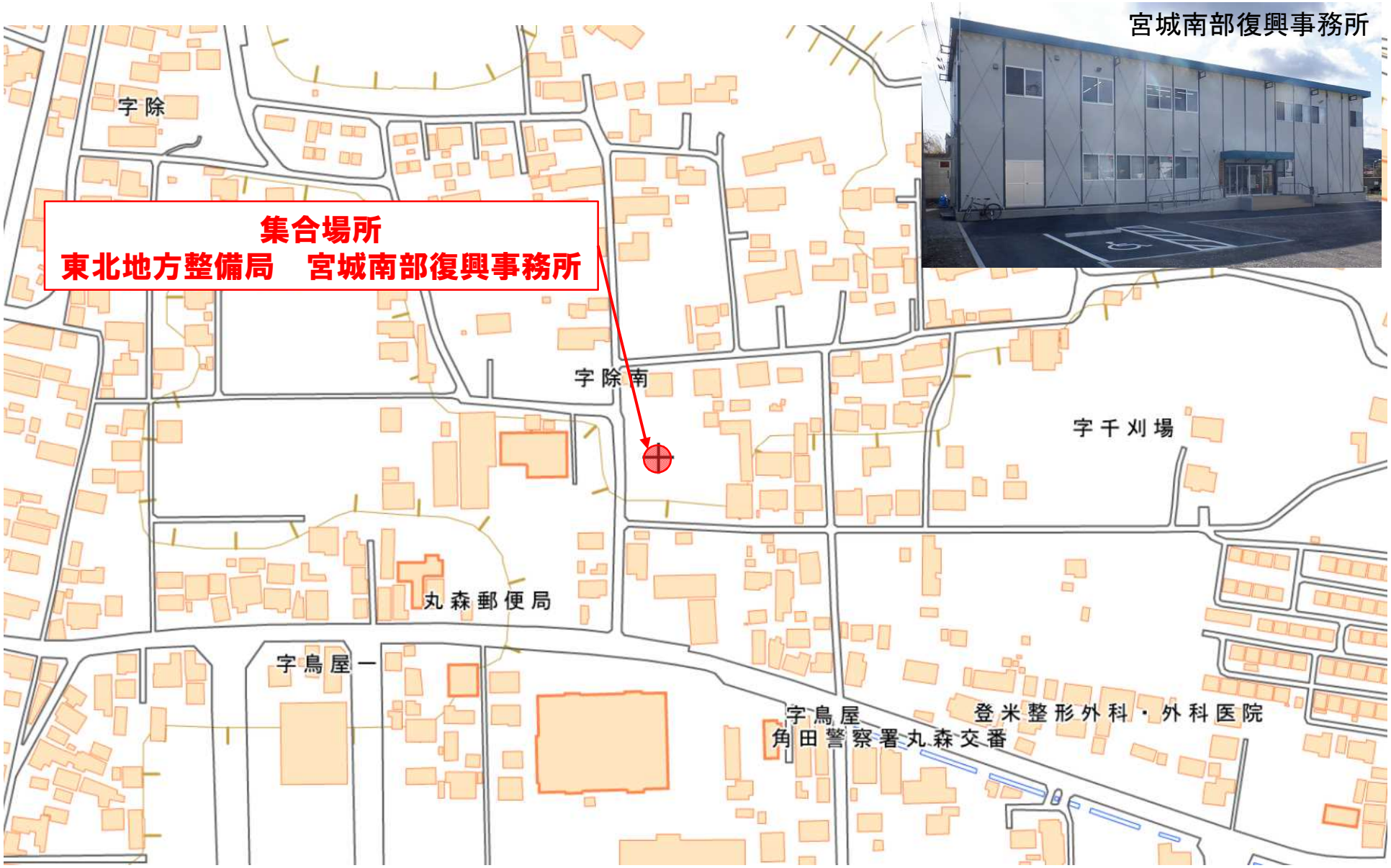
集合場所
東北地方整備局　宮城南部復興事務所

現地取材場所内川）

丸森町字前河原（矢田橋）　付近

出展：地理院地図に所在地等を追記して掲載

R2.10.1　丸森町現地取材集合場所



出展：地理院地図に所在地を追記して掲載

R2.10.1　荒浜海水浴場（亘理町）現地取材場所



出展：地理院地図に所在地を追記して掲載

別添

－取材要領－

1. 事前申し込みについて

　取材を希望される方は、事前に「取材申込書」により FAX でお申し込み願います。

（スムーズな運営のため、御理解と御協力を御願い致します。）

○ 申込期限は9月30日（水）17:00とさせていただきます。（期限厳守で御願い致します。）

申込先（FAX）0224－51－8295（宮城南部復興事務所）

なお、記入欄は、日程の変更などのお知らせや、取材スペースの確保に必要な事項ですので、記入漏れの無いよう御協力を御願い致します。

2. 集合場所（宮城南部復興事務所）で受付を済ませてから取材場所へ移動をお願いします。（受付開始10:00～10:20）

3. その他の留意事項

取材に当たっては担当者の指示に従って下さい。

別添

国土交通省東北地方整備局
宮城南部復興事務所 宛
申込先 FAX　0224-51-8295

東日本台風１年を前に緊急的な河道掘削工事が完了
【10月1日(木) 10:３０～】

取 材 申 込 書

取材をご希望の報道機関におかれましては、事前に必要事項をご記入の上、FAX にてお申し込みください。
申込み締め切りは9月30日(水)17:00です。

令和 2年　　月　日

所属記者会(所属する記者会に○をつけて下さい。)
・宮城県政記者会　・東北電力記者会　・東北専門記者会 ・その他(　　)
会社名及び部署名
取材者(代表者)の役職・氏名・連絡先
【代表者の連絡先(携帯番号等)】
取材者の人数(カメラマン、音声担当等も含めた総人数)
人

・上記のとおり取材を申し込みます。

取材申込等に関する問い合わせ先
国土交通省　東北地方整備局　宮城南部復興事務所 TEL 0224－51－8290(代表) みなざわ　かずや 建設監督官　皆澤　和哉（内線403）